

西東京市文化芸術に関するアンケート調査の考え方【案】

1. 調査の目的

- アンケート調査は、西東京市文化芸術振興計画の改定のため、市民の文化への関心や文化的な体験や活動の実態、西東京市の文化的な環境に対する考え方などを把握することを目的としています。
- さらに、文化に関心のない層や鑑賞・体験をしていない層に対して、文化芸術振興に対する考え方や理解を尋ねる調査も実施します。

2. 実施概要

- アンケート調査は、次の2種類を実施します。

no	名称	対象
ア	西東京市文化芸術に関するアンケート調査(仮称)	18歳以上の市民1,000人
イ	文化芸術振興に対する意識調査(仮称)	文化に関心のある市民200人 文化に関心のない市民200人

- 調査アは調査票を郵送するカタチで実施します。調査イは、特定の対象に限って実施するため、インターネットモニター調査にて行います。

3. 西東京市文化芸術に関するアンケート調査(仮称)の設問

- 設問数は現在、次の内容を想定しています。

no	設問	意図
	基本属性 (性別/年代/職業/居住地/居住年数)	問6以降のクロス集計に用いる
■文化的な体験について		
6	文化芸術の鑑賞・体験に対する意識	生活のなかで文化芸術を生で鑑賞・体験することを大切に思っている人の割合を把握
7	過去1年間における鑑賞の有無	鑑賞したことのある人の割合を把握
8	過去1年間において鑑賞した場所	市内での鑑賞状況のほか、広域での鑑賞行動を把握(特に西武沿線のホールの利用状況を知りたい) ※1
9	これまで参加したことのある市内行事	市民文化祭等、市内の主な行事への参加状況を把握
10	市内行事に参加したことのない理由	市内の主な行事に参加しない理由を把握し、参加促進のための施策を検討

- ※1 市内の施設を充実させるとともに、自治体間で連携し、広域で既存の施設を活用していくことも想定し、実際の鑑賞行動における地理的範囲を把握しようと考えています。

no	設問	意図
11	今後、鑑賞したいと思う分野	市民の鑑賞ニーズを把握し、今後の事業の検討に活用
■文化的な活動について		
12	現在における文化的な活動状況	創作や公演、イベント等に関係する活動をしている人(市内の文化芸術振興の担い手と捉えられる層)の割合を把握 特に「過去に活動していたが、いまはやっていない」層を潜在的な担い手として把握したい ※2
13	活動のために利用する場所	市内での鑑賞状況のほか、広域での活動実態を把握(特に西武沿線の施設の利用状況を知りたい)
14	活動する上で困っていること	活動する人たちの課題を把握し、支援のための施策を検討
15	過去に行っていた活動を再開するきっかけ	「過去に活動していたが、いまはやっていない」層が、どのようなきっかけがあれば再開するのかを把握し、担い手を増やすための施策を検討 ※2
■西東京の施設について		
16	利用したことのある施設	ホール等の施設の利用状況を把握し、今後の施設整備の検討に活用
17	利用する施設を選ぶ際の基準・理由	同上
18	ホール施設を魅力的にするために必要なこと	特にこもれびホール、市民会館、コールド田無について、改善要望を把握し、今後の施設整備の検討に活用
■西東京のイメージや文化的な環境について		
19	西東京市への愛着の有無	市内での鑑賞・活動等の状況と愛着の関係について分析
20	まちのイメージ	文化芸術、歴史、国際交流、コミュニティなどに関して、市に対してどのようなイメージをもたれているかを把握
21	文化的な環境に対して不十分だと思うこと	事業、施設、情報発信、市民連携等の文化的な環境に対して十分でないと感じられていることを把握し、改善のための施策や重点化すべき施策を検討
22	市内の文化芸術活動を活性化するために必要なこと	市が行うべき施策を直接尋ね、今後の施策を検討

※2 西東京市の文化芸術振興の担い手を活動する市民ととらえ、どの程度の市民が活動しているのかを把握します。さらに現在は活動していない人は潜在的な担い手と考え、問15もあわせて活動を再開し、担い手となってもらうための支援策を検討したいと考えます。

no	設問	意図
23	文化芸術振興による地域に対する効果	地域コミュニティや経済への還元、まちのアイデンティティ形成など、まちづくりへの効果(外部性)に対する認識を把握 特に鑑賞・活動をしていない人がどのように思っているのかを把握したい ※3
24	文化芸術に関する事業への参画意向	文化芸術振興に参画する意向(担い手となる意向)を持っている人がどの程度いるのかを把握 ※4
25	事業への参画ために必要な行政の取組	担い手となる意向を持っている人が、実際に参画するために必要な市の取組を把握し、担い手育成のための施策を検討
26	オリンピック・パラリンピックに向けて市が取り組むとよいこと	文化プログラムに対する期待を把握し、今後の事業展開を検討
27	市内での外国人との交流に必要なこと	市内における外国人との交流のために必要な取組を把握し、施策を検討
28	国際交流のために市民がするとよいこと	外国人との交流のために自分自身が取り組む意向があるかどうかを把握
■子どもの文化体験について		
29	子どもの文化芸術体験のために市が取り組むとよいこと	子どもを対象として取り組むべき施策を把握し、子ども向けの施策を検討
30	「対話による美術鑑賞」の今後について	「対話による美術鑑賞」の今後の展開についてニーズを把握し、事業のあり方の検討に活用
31	文化芸術体験の子どもに対する効果	子どもにとっての効果把握することで、子ども向けの事業の目的や内容の検討に活用
32	子どもの有無	(問33・34のための分岐設問)
33	過去1年間における子どもの鑑賞・活動状況	子どもがどの程度、文化芸術に触れているのかを把握(1つの設問で鑑賞と活動の両方の状況を把握することが可能)
34	自由回答	—

※3 昨今、文化芸術がまちづくりや経済活性化に活用されつつあり、鑑賞や活動といった直接的な効果以外に、どのような効果が認識されているのかを把握したいと考えます。この設問は「文化振興に対する意識調査(仮称)」でも尋ね、文化に関心のない層における文化芸術の期待についても把握します。

※4 市民が文化芸術振興の担い手ととらえ、活動している人のほか、何らかのかたちで事業に参画しようと思っている人がどの程度いるのかを把握します。

4. 文化芸術振興に対する意識調査(仮称)の設問

○調査対象については、下記の調査項目2・3の回答を利用して、次のとおり分類します。

○主たる対象は「文化芸術に関心のない層」であり、その比較対象として「文化芸術に関心のある層」をサンプルとして集めます。

no	グループ	要件	件数
A	文化芸術に関心のある層	「文化芸術の鑑賞・体験を大切だと思う人」で、かつ「過去1年間で文化芸術を鑑賞したことがある人」	200
B	文化芸術に関心のない層	「文化芸術の鑑賞・体験を大切だと思わない人」、ないしは「過去1年間で文化芸術を鑑賞なかった人」	200

○設問数は現在、次の内容を想定しています。

no	設問	意図
	基本属性(性別／年代／職業)	問2以降のクロス集計に用いる
■文化的な体験について		
2	文化芸術の鑑賞・体験に対する意識	生活のなかで文化芸術を生で鑑賞・体験することを大切に思っている人の割合を把握
3	過去1年間ににおける鑑賞の有無	鑑賞したことのある人の割合を把握
4	身近に文化芸術を体験できることに対する意識	身近に体験できることを誰にとって大切だと思うかどうかを尋ね、どのような施策であれば関心のない層でも理解が得られるのかを把握
5	文化芸術振興による地域に対する効果	地域コミュニティや経済への還元、まちのアイデンティティ形成など、まちづくりへの効果(外部性)に対する意識を把握し、関心のない層でも期待が持てる施策のあり方を検討
6	行政が文化芸術を振興することへの意識	関心のない層のうち、行政が文化芸術振興のために取り組む必要があると思っている人の割合を把握
7	子どもが文化芸術に触れることへの意識	問6とは別に子ども向けの施策に対する理解の度合いを把握
8	西東京市への愛着の有無	上記の回答内容と愛着の関係について分析